

中学校部活動の地域移行 ～「部活動」から「とよた地域クラブ活動」へ～

課題

少子化や働き方改革によって、今までどおり部活動ができなくなるかもしれない…でも子どもたちにはスポーツや文化をおもいっきり楽しんでほしい…

地域ぐるみで子どもたちが幅広くスポーツ・文化に親しむことができる環境をつくりたい！

解決策 (案)

令和8年から先生に代わって地域の方が指導する
「とよた地域クラブ活動」をスタートします



内容

ポイント① こどものための活動

- ・今の部活動と同じ種目を、同じ時間（平日・休日）・場所（中学校）で行います。
- ・誰もが気軽に参加できるよう、参加費は無料とします。
- ・ニーズ変化に対応できるよう、今まで以上に柔軟な仕組み・活動を目指します。
（例：複数種目への参加、小学生も参加、他中学校区での活動参加など）

ポイント② 地域の方と一緒に楽しむ活動

- ・先生に代わり専門知識を持った地域の方などが子どもたちを指導します。
- ・地域で活動種目の決定や見直しができるような仕組みにします。
（例：伝統文化など、地域固有の活動も種目として想定）

ポイント③ 豊田市の強みを生かした活動

- ・市内で活躍するスポーツ・文化団体、企業、大学などと連携し、質の高い指導者に参加してもらうとともに、指導者向け研修プログラムも作成します。
- ・人材バンクを設置し、指導したい人と指導を受けたい活動をマッチングします。

体制

いままで

教育委員会

学校

部活動
(先生)

これから(R8～)

豊田市

地域学校共働本部

とよた地域
クラブ活動
(地域指導者)

地域学校共働本部とは

- ◆地域と学校をつなぎ、学校・家庭・地域が一体となって、こどもの成長を支える組織です。
- ◆現在は学校へのボランティア派遣や地域貢献活動を行っています。
- ◆今後はとよた地域クラブ活動がスムーズに運営できるよう体制を強化します。

令和5～7年度は準備期間として、土日に限り地域の方が指導に参加している部活動があります。